

経営比較分析表（令和6年度決算）

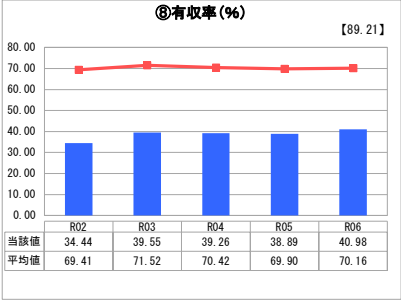
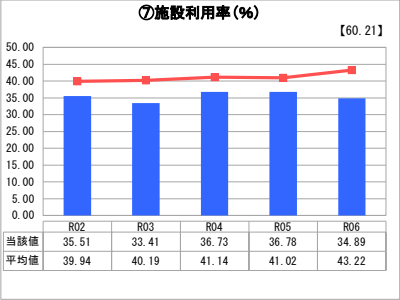
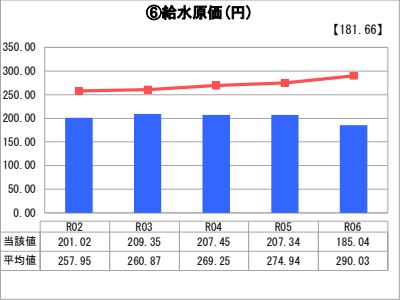
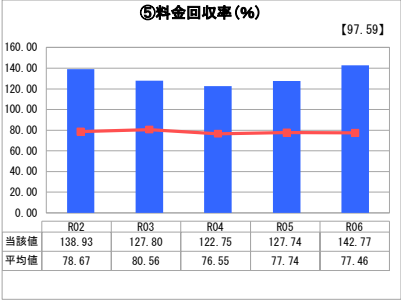
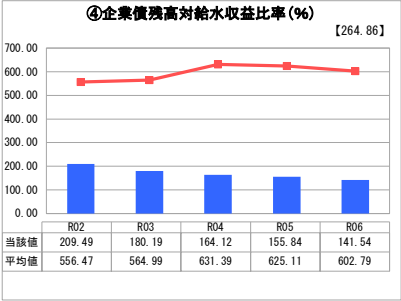
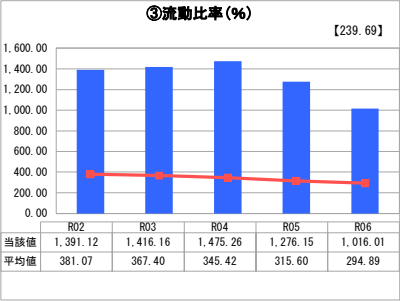
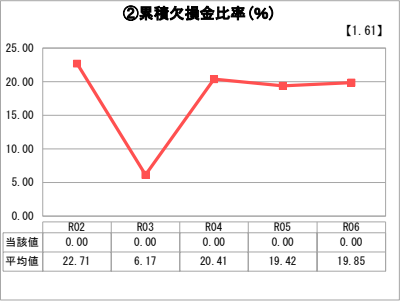
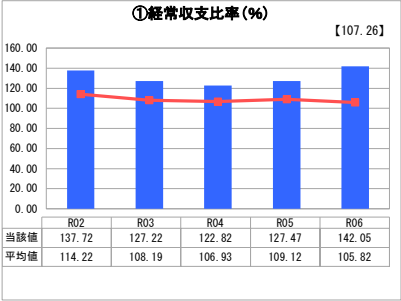
群馬県 嬬恋村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A9	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)	
-	88.08	31.93	1,606	

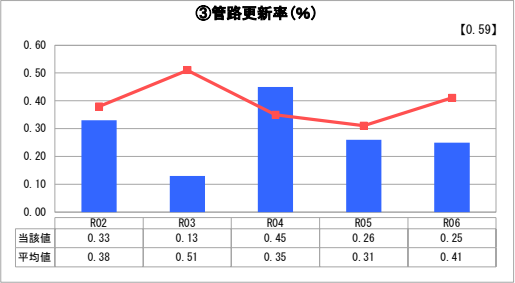
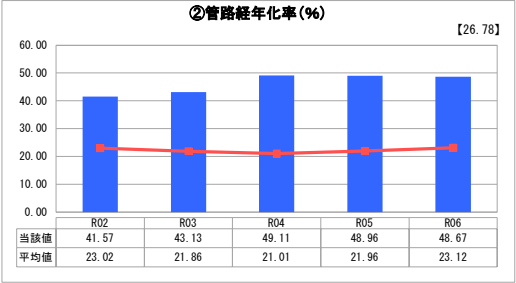
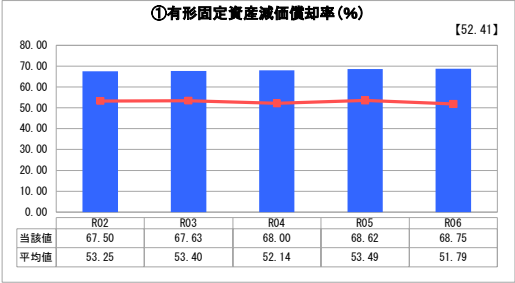
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,073	337.58	26.88
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,906	16.00	181.63

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【 令和6年度全国平均】

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率 現状を維持したい。
②累積欠損金比率 現状を維持したい。
③流動比率 高い値で推移。
④企業債残高対給水収益比率 企業債残高が減っているため低下している。
⑤料金回収率 給水に係る費用は給水収益で賄われており、今後も維持したい。
⑥給水原価 横ばいで推移しているが、平均値と比較し低い。今後も適切な数値を維持したい。
⑦施設利用率 平均値を下回った。コロナの影響で別荘地、宿泊施設を中心に配水量が減少したが回復してきているが、依然として低い値。抜本的なダウンサイジングが急務。
⑧有収率 依然として低い数値であり、平均値と比較しても大きな差がある。引き続き重要課題として漏水の解消に取り組みたい。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率 ほぼ横ばいで推移しているが、平均値を上回っている。引き続き計画的に施設の更新に取り組みたい。
②管路経年化率 上昇してきているが、今後も更に上昇傾向で推移すると見込んでいる。
③管路更新率 平均値は上回っているが、当該年度は口径の小さな管路の更新であったため、更新距離も伸びている。衛星による劣化診断を実施。効率的に更新していく。

全体総括

有収率の改善が急務。効率的な更新の方法を探り、更新とダウンサイジングの両立を図る。また制度改正により一般会計出資債についても検討を行う。早期に経営戦略を改定し、基盤の強化を図る。